



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった研修生をあたたくご支援ください。

SEADSのホームページはこちらのQRコードからご覧いただけます。

市内各地で田植えが行われています

5月中旬から、市内各地で田植えが盛んに行われています。研修生は市内農業者のもとで実習を行い、実習を通して本市の基幹作物である水稻を意欲的に学んでいます。

実際に田植機の運転操作をした研修生は「緊張する」「とても難しい」と話していました。



(田植機を運転操作する研修生)

個別面談で担任に相談

SEADSでは、研修生1人に対して2人あるいは3人のスタッフが担任を受け持っています。個別面談は月に一度設定されており、研修時の疑問や悩みを相談したり、就農イメージを実現するためのアドバイスを受けています。

報告や相談を通して、研修生は自身の農業の実践について、具体的に考えを深めています。



(研修生との個別面談の様子)

実験を通して学ぶ

5月11日の「植物生理II」の講義では、2年生が光学顕微鏡を用いた実験を行いました。

この日の実験では単子葉類、双子葉類の葉脈の違いを観察しました。貴重な実験を通して、それぞれの植物を育てる上での注意点について考察しました。



(光学顕微鏡を用いて実験をする研修生)

研修風景



(SEADS農場でのなすの定植作業)